

10人と1団体を表彰

昭和五十九年度の市功労者の表彰式が、文化の日の十一月三日、市議会議場で行われ十人と一団体が表彰を受けました。このほう賞は、市政の進展、文化の向上、産業の振興、福祉の増進等に寄与した者、または市民の模範として推奨するにふさわしい功績のあった個人または団体に贈られるものです。今年度で十三回目に当たるほう賞で、今まで百九十人の個人、団体が表彰されました。今回表彰された方々は次のとおりです。

59年度 豊栄市功労者



佐野富美枝さん
(川西1丁目 71歳)
昭和43年から現在まで、民生委員として福祉の増進に寄与。



田邊 二郎さん
(上他門 71歳)
商工会の理事、副会長として永年商工業の開発・振興に尽力。



土田 昭衛さん
(高森新田 55歳)
農業委員会委員として、4期12年間農地行政、農業振興に寄与。



渡邊 清吉さん
(大久保 95歳)
高齢者。



長谷川喜一さん
(中大口 70歳)
昭和30年から現在まで、豊栄地区交通安全協会会長として、交通安全活動に貢献。



阿部ハルヲさん
(長場 73歳)
昭和14年に助産婦開業以来現在まで、自宅分娩の開発、家族計画指導など地域の母子保健向上に尽力。



窪田 重夫さん
(木崎 70歳)
昭和43年から現在まで、民生委員として福祉の増進に寄与。



葛塚小学校総合竣工式実行委員会
(代表 北村幸英さん)
葛塚小学校総合竣工記念事業として、多額の施設(総額502万円)を寄贈



小林 ユキさん
(鳥屋 95歳)
高齢者。



橋本 リサさん
(浦ノ入 95歳)
高齢者。



小林八重蔵さん
(上大口 95歳)
高齢者。

58年度 一般会計決算

七十七億円の使いみち 教育・民生・土木が中心

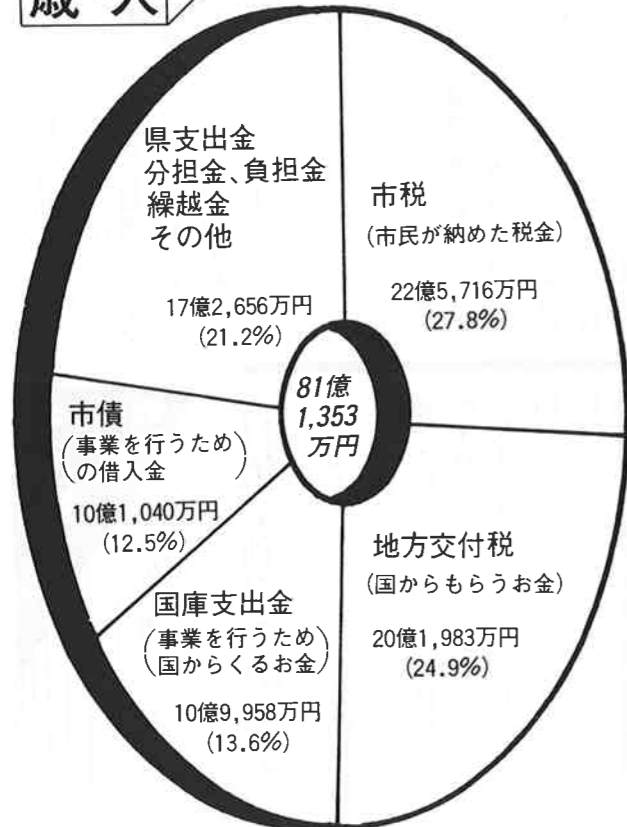
五十八年度一般会計の決算概要をお知らせします。

決算額は、歳入、歳出ともに前年度を下回りました。歳入総額は八十一億一千三百五十三万円、歳出総額は七十七億八千六百五十三万円、差引額は三億二千七百万円となりました。翌年度への繰越事業分を差引いた実質の黒字額は一億三千六百三十四万円です。これは厳しい財政事情をふまえ、極力経費の節減に努めたことによるものです。

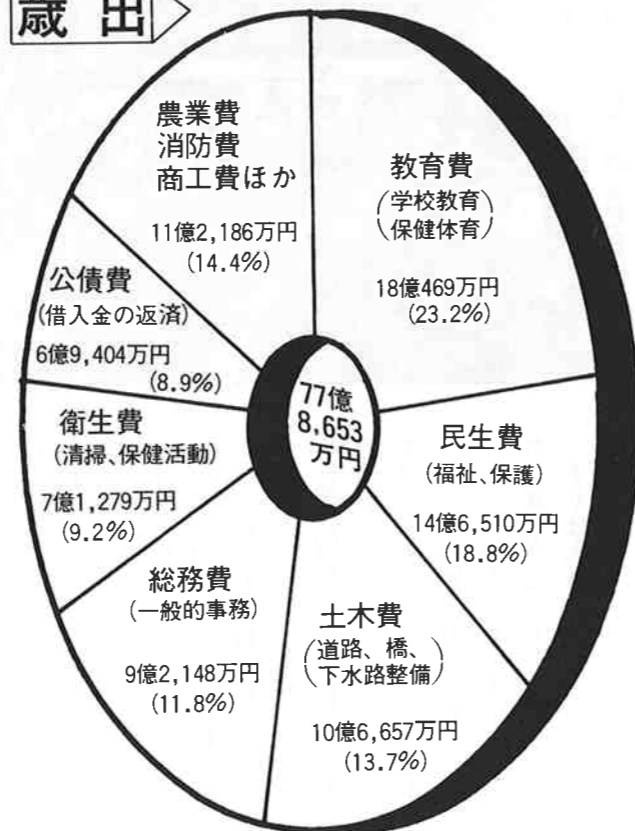
四年以来十四年振りです。なお、市民一人当たりが納めた税金(市税)は五万四千六百五十五円で、市民一人当たりに使われたお金は十七万四千九十九円という計算になります。この決算は市議会の認定が必要のため、十二月定例会市議会に提案される予定です。

歳入は、前年度に比べ三億円余り、率にして三・六割減少しました。内訳では国庫補助金が減った反面、市税が増えました。また歳出は、前年度に比べ五億五千万円余り、率にして六・六割減少しました。内訳では総合体育館や早通中学校、葛塚小学校、岡方第二小学校の校舎、体育館の建設等による教育費が前年度と同様一位を占めました。歳入歳出決算額が前年度よりダウンしたのは、昭和四十

歳入



歳出



市税の状況

電気税ほか	1億2,730万円 (5.7%)
都市計画税	1億2,264万円 (5.4%)
たばこ消費税	1億9,031万円 (8.4%)
市民税	8億9,460万円 (39.6%)
固定資産税	9億2,231万円 (40.9%)